

『言葉の意味』を調べる

Japan Knowledge (ジャパナレッジ)



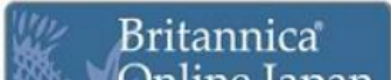
Japan Knowledge (ジャパナレッジ) _1



図書館HP>データベースを利用する>
<利用したいデータベースの分類を選択>
から、
言葉の意味を調べる場合は、
「事象や物事、統計資料などを検索する」
を選択する。



Japan Knowledge (ジャパナレッジ) _2

	(利用館：● ● 学外利用：○ 横断検索：-)
	百科事典・辞書・ニュース・学術サイトURL集などを集積した知識データベース。 ※利用方法は こちら ◆ジャパナレッジの推奨環境 ※推奨環境でも使用する機種によってはご利用いただけない、もしくは正しく表示されない場合がございます ※制限事項につきましては こちら をご確認ください (利用館：● ● 学外利用：- 横断検索：-)
	ブリタニカ国際大百科事典をベースとした知のポータルサイト。 (利用館：● ● 学外利用：- 横断検索：-)

百科事典・辞書・ニュース・学術サイトURL集などを集積した
知識データベースです。

言葉や事柄、専門的な用語や企業情報、科学分野の辞典や経済誌のコラム
なども調べることができます。

文字による解説だけでなく、写真や音声、動画などで情報を確認すること
もできます。

Japan Knowledge (ジャパナレッジ) _3

JapanKnowledge Lib 法人向け コンテンツ 使い方/サポート お問い合わせ Eng

基本検索 詳細(個別)検索 本棚

[ログインする](#) [学認 \(GakuNin\) でログイン](#)

お知らせ お知らせ一覧

- 2025年03月27日 [EDIX東京2025に出展【2025年4月23日～25日】](#)
- 2025年03月12日 [【解消済み】本文のコピー&ペーストができない事象が解消いたしました](#)
- 2025年03月10日 [【解消済み】動作が遅い事象が発生しております](#)
- 2025年03月10日 [「有斐閣 判例六法Professional 令和7年版」公開](#)
- 2025年03月10日 [書誌データ差し替えのお知らせ](#)

- [新規契約のご案内](#)
- [利用料金](#)
- [会員規約](#)
- [各種資料/申込書](#)

- [ジャパナレッジLibとは](#)
- [JKBooksとは](#)
- [LibとJKBooksの統合について](#)
- [JKBooksを別契約でご利用する場合](#)

こちらがJapan Knowledge (ジャパナレッジ) のトップページです。
左上の「[ログインする](#)」から入ります。
※利用にはVPN接続が必要です。

Japan Knowledge (ジャパナレッジ) _4

左側の「検索コンテンツ」で検索対象にする百科事典や辞書などを選択することもできますが、今回は全てのコンテンツで「カーボンニュートラル」を調べてみます。検索欄に検索したい単語を入力し、検索をクリック。12件がヒットしました。次に、1項目目の「デジタル大辞泉」の解説を選択して詳しく見てみましょう。

差し引きでゼロにすること。ネットゼロ とも。 ...

7. カーボンニュートラル-エルエヌジー【カーボンニュートラルLNG】

デジタル大辞泉

Japan Knowledge (ジャパナレッジ) _5

デジタル大辞泉

[基本検索](#)[詳細\(個別\)検索](#)[本棚](#)[親項目](#) [カーボン【carbon】](#)

カーボン-ニュートラル【carbon neutral】

《環境中で、[二酸化炭素](#)の排出量と吸収量が同じであるという意、炭素中立》

1 植物や植物を原料とする[バイオエタノール](#)などを燃やして出る二酸化炭素は、植物が生長過程に吸収した二酸化炭素と同量で[温室効果ガス](#)を増やすことにはならず、環境破壊にはつながらないという考え方。→[バイオマス](#)

2 日常生活や経済活動によって排出される[温室効果ガス](#)の量を、他の場所で達成された削減・吸収量で相殺する状態。→[カーボンオフセット](#)

記事文中にある言葉
もすぐ検索できます。

☒ 現在のコンテンツ ☐ すべてのコンテンツ[Knowledge Searcher](#)[引用元挿入機能](#)[前項目](#)[次項目](#)[印刷](#)[凡例](#)[前後項目](#)[親項目](#) [おん-しつ【温室】](#)

おんしつこうか-ガス【ヨンシツカウクワ-】【温室効果ガス】

地球に[温室効果](#)をもたらすガス。[二酸化炭素](#)・[メタン](#)・[亜酸化窒素](#)・[フロン](#)など。グリーンハウスガス(GHG)。温室ガス。温暖化ガス。

〔補説〕[京都議定書](#)では、二酸化炭素(CO₂)・メタン(CH₄)・亜酸化窒素(N₂O)・ハイドロフルオロカーボン(HFC)・パーフルオロカーボン(PFC)・六フッ化硫黄(SF₆)の6種類の温室効果ガスを規制の対象としている。

[カーボン-ネガティブ【carbon negative】](#)[カーボン-バジェット【carbon budget】](#)

現代用語の基礎知識

[基本検索](#)[詳細（個別）検索](#)[本棚](#)[総合目次](#) > [科学・医療](#) > [環境と社会](#) > [気候変動／地球温暖化](#) > [カーボンニュートラル【2024】](#)

カーボンニュートラル【2024】

Carbon Neutrality

温室効果ガスの排出を「全体として」ゼロにすること。「全体として」とは、温室効果ガスの排出量と同じだけの量を吸収または除去し、差引きでゼロとする考え方であり、**ネットゼロ**と同義。気候変動問題に対する国際的な目標や対応策を定めた**パリ協定**は、「今世紀後半のカーボンニュートラルを実現」するために排出削減に取り組むことを目的としている。また、国連**気候変動に関する政府間パネル（IPCC）**の「IPCC1.5℃特別報告書」によると、産業革命以降の温度上昇を1.5℃以内に抑えるという努力目標を達成するためには、2050年までのカーボンニュートラルが必要とされている。世界全体を見渡すと、144カ国・地域が50年までのカーボンニュートラル実現を表明している（21年11月現在）。国レベルの表明に加えて、自治体や民間レベルでのカーボンニュートラル表明も増えており、その達成時期の前倒しも多くみられる。

©JIYUKOKUMINSHA CO.,LTD



☒ 現在のコンテンツ ☐ すべてのコンテンツ

[Knowledge Searcher](#)[引用元挿入機能](#)[印刷](#)

関連項目

[温室効果ガス（GHG）](#)[カーボンニュートラル](#)[再生可能エネルギー](#)[カーボンニュートラル燃料](#)[CCS](#)

Japan Knowledge (ジャパナレッジ) _7

日本大百科全書 (ニッポニカ)

基本検索

詳細 (個別) 検索

本棚

カーボンニュートラル

カーぼんにゅーとらる

carbon neutral

二酸化炭素など温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出量を実質ゼロに抑えるという概念。もともとは生化学や環境生物学の用語で、人類が生きていくには温室効果ガス排出は避けられないので、排出を吸収で相殺し、地球温暖化への影響を軽微にしようとの考え方に基づいている。「カーボンゼロ」「カーボンオフセット」「排出量実質ゼロ」「炭素中立」なども似たような意味で用いられる。気候変動など温暖化問題が地球規模で深刻になるなか、カーボンニュートラルは脱炭素化社会の実現やグリーン成長戦略のキーワードとなっている。カーボンニュートラルの達成年次として、日本、ヨーロッパ連合 (EU)、韓国などの政府は2050年を、中国政府は2060年を目標としている。

カーボンニュートラルの実現には、(1)排出分の吸収、(2)排出量の削減、(3)排出量取引、の三つの手法がとられる。吸収策では、植林などで直接吸収量を増やすほか、熱帯雨林の開発抑制、森林伐採や森林火災の防止が有効とされる。二酸化炭素を地下に貯蔵したり再利用したりするCCUS (二酸化炭素の回収・利用・貯留) 技術の実用化や、海水による吸収・化学吸収・物理吸着技術の研究も進んで

複数の資料から調べることができ、言葉の意味だけでなく、社会的背景も学ぶことができます。

る炭素税 (環境税) 導入などがある。排出量取引は、国、自治体、企業などの経済主体ごとに排出許容限度を定め、限度を超えて排出する経済主体が限度未満の経済主体から排出量 (排出権) を買い取



☒ 現在のコンテンツ ☐ すべてのコンテンツ

Knowledge Searcher

引用元挿入機能

前項目

次項目

印刷

凡例

前後項目

[カーボン](#)

[カーボンオフセット](#)

[カーボン・クレジット市場](#)

[カーボン紙](#)

[カーボンナノチューブ](#)

[カーボンニュートラル](#)

[カーボンバレーン](#)

[カーボンフィルム](#)

[カーボンフットプリント](#)

[カーボンブラック](#)

[カーボンレスペーパー](#)

関連項目

[温室効果](#)

[カーボンオフセット](#)

Japan Knowledge (ジャパナレッジ) _8

JapanKnowledge Lib

コンテンツ

使い方/サポート

ガイド

Eng

東京都市大学 様

ログアウト

日本大百科全書 (ニッポニカ)

基本検索

詳細 (個別) 検索

本棚

カーボンニュートラル

カーボンにゅーとらる

carbon neutral

二酸化炭素など温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出量を実質ゼロに抑えるという概念。もともとは生化学や環境生物学の用語で、人類が生きていくには温室効果ガス排出は避けられないので、排出を吸収で相殺し、地球温暖化への影響を軽微にしようとの考え方に基づいている。「カーボンゼロ」「カーボンオフセット」「排出量実質ゼロ」「炭素中立」なども似たような意味で用いられる。気候変動など温暖化問題が地球規模で深刻になるなか、カーボンニュートラルは脱炭素化社会の実現やグリーン成長戦略のキーワードとなっている。カーボンニュートラルの達成年次として、日本、ヨーロッパ連合 (EU)、韓国などの政府は2050年を、中国政府は2060年を目標としている。

カーボンニュートラルの実現には、(1)排出分の吸収、(2)排出量の削減、(3)排出量取引、の三つの手法がとられる。吸収策では、植林などで直接吸収量を増やすほか、熱帯雨林の開発抑制、森林伐採や森林火災の防止が有効とされる。二酸化炭素を地下に貯蔵したり再利用したりするCCUS (二酸化炭素の回収・利用・貯留) 技術の実用化や、海水による吸収・化学吸収・物理吸着技術の研究も進んでいる。排出量の削減では、発電、製鉄などの工場、自動車、運輸・輸送分野で化石燃料の利用を抑制・禁止し、太陽光や風力などの再生可能エネルギー、水素エネルギー、植物由来の物質 (バイオエタノール、木質ペレット、農業廃棄物など) 活用へ転換する。二酸化炭素排出量の多い石炭から少ない

利用が終わりましたら必ず「ログアウト」してください。

現在のコンテンツ

Knowledge Searcher

前項目

次項目

印刷

凡例

前後項目

カーボン

カーボンオフセット

カーボン・クレジット市場

カーボン紙

カーボンナノチューブ

カーボンニュートラル

カーボンバレーン

カーボンフィルム

カーボンフットプリント

カーボンブラック

カーボンレスペーパー